【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成28年5月26日(2016.5.26)

【公開番号】特開2015-1680(P2015-1680A)
【公開日】平成27年1月5日(2015.1.5)
【年通号数】公開・登録公報2015-001
【出願番号】特願2013-127181(P2013-127181)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ　17/02　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/232　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　17/18　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　7/00　(2014.01)
Ｇ０３Ｂ　15/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ　17/02
Ｈ０４Ｎ　5/232　Ｚ
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｂ
Ｇ０３Ｂ　17/18　Ｚ
Ｇ０３Ｂ　7/00　Ｚ
Ｇ０３Ｂ　15/00　Ｒ

【手続補正書】
【提出日】平成28年4月4日(2016.4.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上述した課題を解決するために本発明の撮像装置は、
タッチパネルを備えた表示部に、タッチ入力可能な所定の領域を表示する表示制御手段と、
前記表示部に表示されている前記所定の領域がタッチ操作された場合に撮影を行う撮影実行手段と、
この撮影実行手段による撮影時に、前記タッチ操作のタッチ位置に応じた値を、撮影に係る所定のパラメータの値として設定する設定手段と、
を具備したことを特徴とする撮像装置である。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上述した課題を解決するために本発明の撮像方法は、
タッチパネルを備えた表示部にタッチ入力が可能な所定の領域を表示する処理と、
前記表示部に表示されている前記所定の領域がタッチ操作された場合に撮影を行う処理と、
前記撮影時に、前記タッチ操作のタッチ位置に応じた値を、撮影に係る所定のパラメー

タの値として設定する処理と、
を含むことを特徴とする撮像方法である。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
上述した課題を解決するために本発明のプログラムは、
コンピュータに対して、
タッチパネルを備えた表示部にタッチ入力が可能な所定の領域を表示する機能と、
前記表示部に表示されている前記所定の領域がタッチ操作された場合に撮影を行う機能と、
前記撮影時に、前記タッチ操作のタッチ位置に応じた値を、撮影に係る所定のパラメータの値として設定する機能と、
を実現させるためのプログラムである。
【手続補正４】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
タッチパネルを備えた表示部に、タッチ入力可能な所定の領域を表示する表示制御手段と、
前記表示部に表示されている前記所定の領域がタッチ操作された場合に撮影を行う撮影実行手段と、
この撮影実行手段による撮影時に、前記タッチ操作のタッチ位置に応じた値を、撮影に係る所定のパラメータの値として設定する設定手段と、
を具備したことを特徴とする撮像装置。
【請求項２】
前記設定手段は、前記所定の領域の表示位置と前記タッチ位置との相対的な位置関係に応じて、撮影に係る所定のパラメータの値を設定する、
ようにしたことを特徴とする請求項１に記載の撮像装置。
【請求項３】
前記設定手段は、前記所定の領域が表示された所定位置からタッチ位置までの距離に応じた値を、撮影に係る所定のパラメータの値として設定する、
ようにしたことを特徴とする請求項１又は請求項２に記載の撮像装置。
【請求項４】
前記所定の領域は所定の幅を持ち、
前記設定手段は、前記所定の領域の幅内でタッチ操作されたタッチ位置に応じた値を、撮影に係る所定のパラメータの値として設定する、
ようにしたことを特徴とする請求項１～請求項３のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項５】
連写撮影を行う撮像手段を更に備え、
前記所定のパラメータは、前記連写撮影における連写時間又は連写枚数である、
ようにしたことを特徴とする請求項１～請求項４のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項６】
前記タッチ操作は、タップ操作であり、
前記撮像手段は、前記所定の領域へのタップ操作前から連写撮影を行い、

前記所定のパラメータは、前記撮像手段によってタップ操作前から連写撮影された連写画像のうち、前記タップ操作時から過去に遡って保存対象とする連写画像を取得する遡り時間又は枚数であり、
前記タップ操作前に前記連写撮影された連写画像を保存する処理を行う処理手段を更に備える、
ようにしたことを特徴とする請求項５に記載の撮像装置。
【請求項７】
前記タッチ操作は、タップ操作であり、
前記撮像手段は、前記所定の領域へのタップ操作時から連写撮影を行い、
前記所定のパラメータは、前記タップ操作時からの連写時間又は連写枚数であり、
前記撮像手段による連写撮影を停止する処理を行う処理手段を更に備える、
ようにしたことを特徴とする請求項５に記載の撮像装置。
【請求項８】
前記タッチ操作は、並行する複数のタップ操作であり、
前記設定手段は、前記複数のタップ操作に対応して複数のパラメータの値を同時に設定する、
ようにしたことを特徴とする請求項１～請求項７のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項９】
動画撮影を行う撮像手段を更に備え、
前記タッチ操作は、タップ操作であり、
前記撮像手段は、前記所定の領域へのタップ操作前から動画撮影を行い、　前記所定のパラメータは、前記レリーズボタンのタップ操作時から過去に遡って動画像を取得する撮影時間であり、
前記タップ操作前に前記動画撮影された動画像を保存する処理を行う処理手段を更に備える、
ようにしたことを特徴とする請求項１～請求項４のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項１０】
前記所定の領域の幅内の位置に応じて割り当てられる各値を、前記設定手段によって設定可能なパラメータの範囲とし、このパラメータの範囲内の各値を前記所定の領域の幅内におけるスライド操作に応じて変更する変更手段を更に備える、
ようにしたことを特徴とする請求項１～請求項９のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項１１】
前記表示制御手段は、前記表示部に所定の幅を持った所定の領域を表示すると共に、その幅内の位置に応じた各値をガイド表示する、
ようにしたことを特徴とする請求項１～請求項１０のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項１２】
前記表示制御手段は、前記所定の領域を、撮影開始を指示するレリーズボタンとして表示する、ことを特徴とする、
ようにしたことを特徴とする請求項１～請求項１１のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項１３】
タッチパネルを備えた表示部にタッチ入力が可能な所定の領域を表示する処理と、
前記表示部に表示されている前記所定の領域がタッチ操作された場合に撮影を行う処理と、
前記撮影時に、前記タッチ操作のタッチ位置に応じた値を、撮影に係る所定のパラメータの値として設定する処理と、
を含むことを特徴とする撮像方法。
【請求項１４】
コンピュータに対して、
タッチパネルを備えた表示部にタッチ入力が可能な所定の領域を表示する機能と、
前記表示部に表示されている前記所定の領域がタッチ操作された場合に撮影を行う機能

と、
前記撮影時に、前記タッチ操作のタッチ位置に応じた値を、撮影に係る所定のパラメータの値として設定する機能と、
を実現させるためのプログラム。